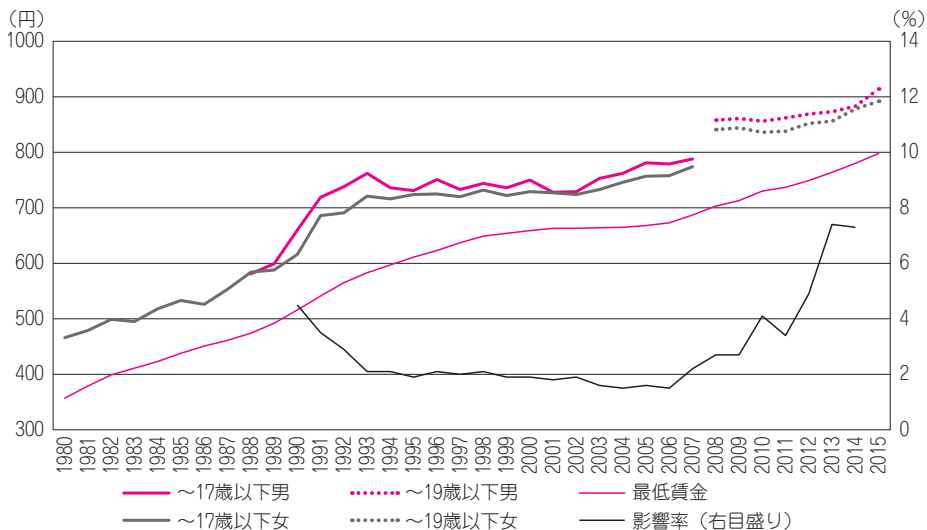
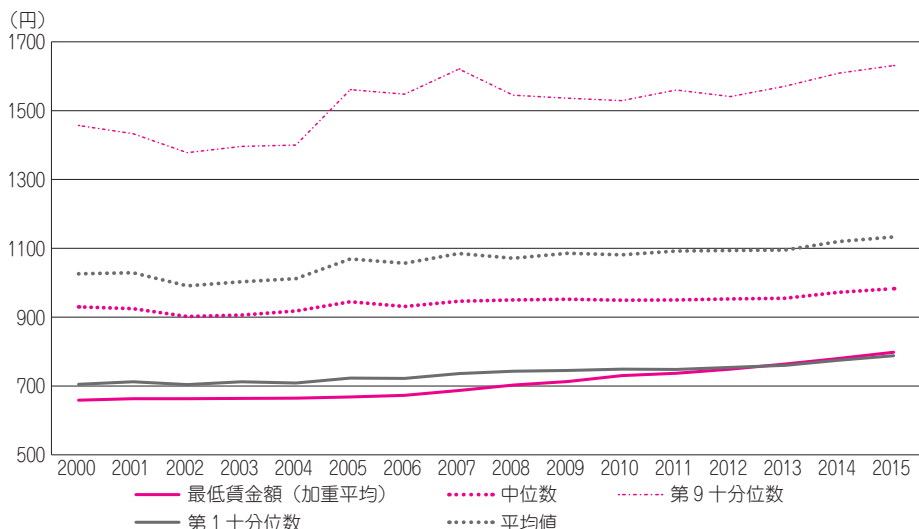


## 第1図 最若年の短時間労働者の時間あたり所定内給与額と最低賃金額（全国）



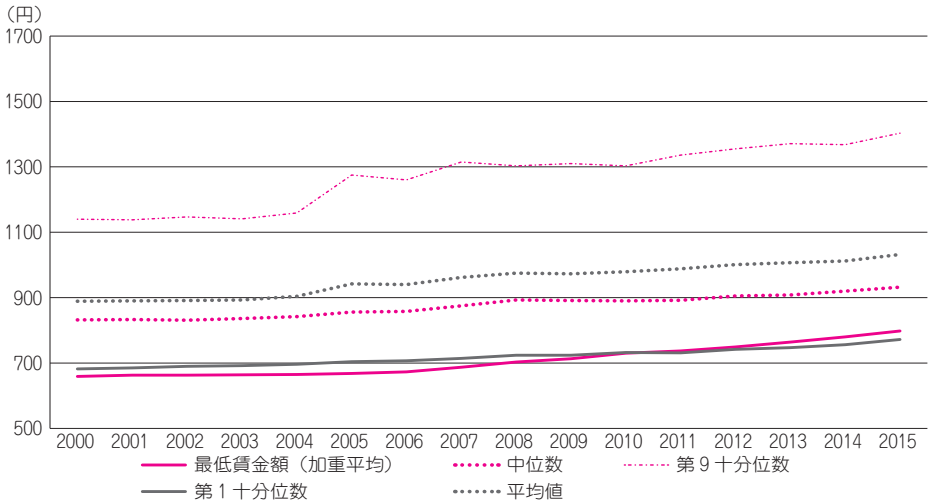
〔備考〕『賃金構造基本統計調査』各年および各年の中央最低賃金審議会目安小委員会資料による。本年鑑44頁参照。

## 第2図 短時間労働者の時間あたり所定内給与額(平均値および中位数)と地域別最低賃金額の推移(男)



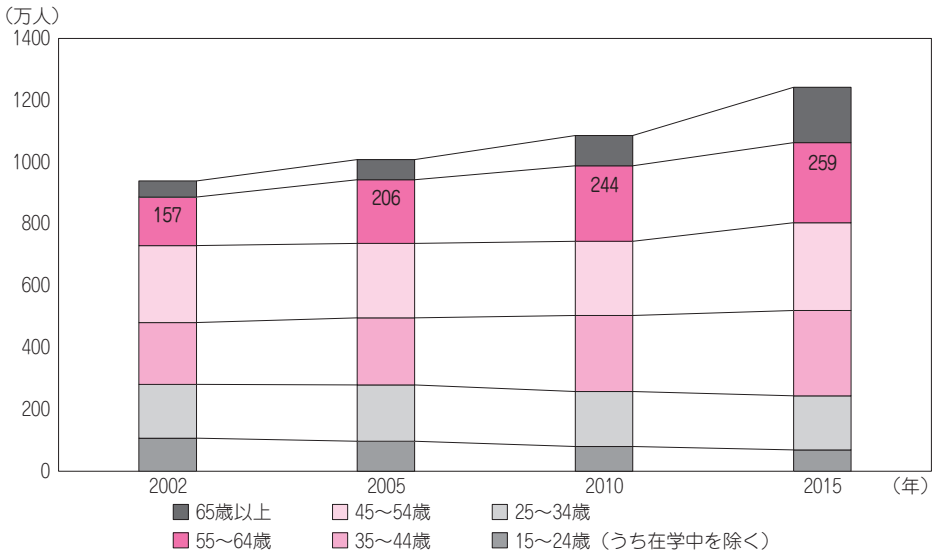
〔備考〕『賃金構造基本統計調査』各年および『最低賃金決定要覧』各年。本年鑑45頁参照。

### 第3図 短時間労働者の時間あたり所定内給与額(平均値および中位数)と地域別最低賃金額の推移(女)



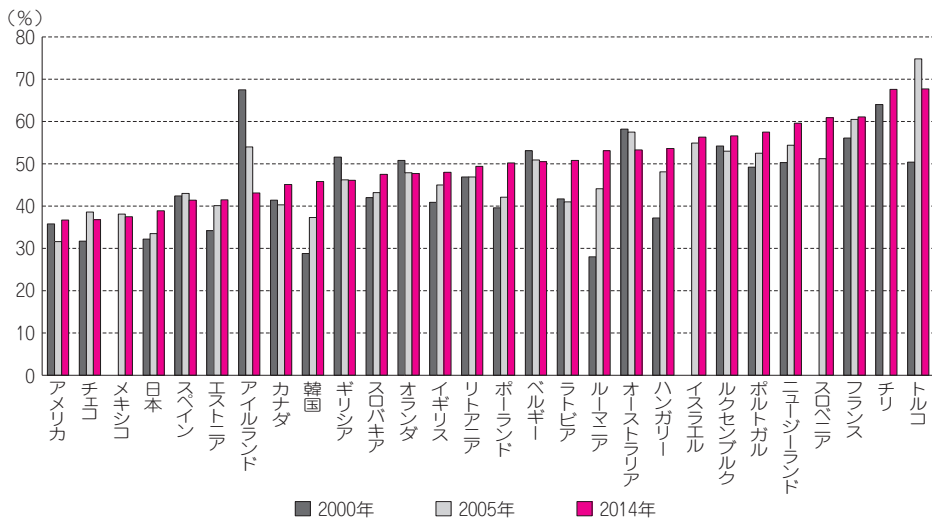
〔備考〕『賃金構造基本統計調査』各年および『最低賃金決定要覧』各年。  
 本年鑑45頁参照。

### 第4図 年齢階級別の「パート・アルバイト」の推移



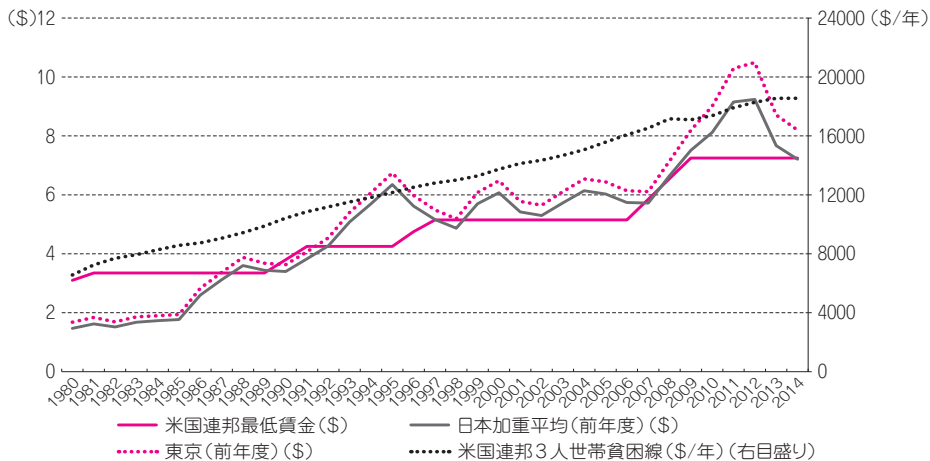
〔備考〕総務省『労働力調査』長期時系列データ(詳細集計)(2016年2月10日アクセス)。  
 本年鑑45頁参照。

## 第5図 OECD諸国における最低賃金額の賃金中央値に対する水準



[備考] Online OECD Employment database (2016年1月31日アクセス)。  
本年鑑46頁参照。

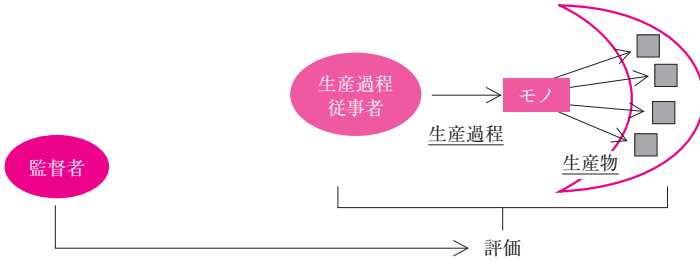
## 第6図 米国最低賃金、貧困線、および日本の最低賃金の推移



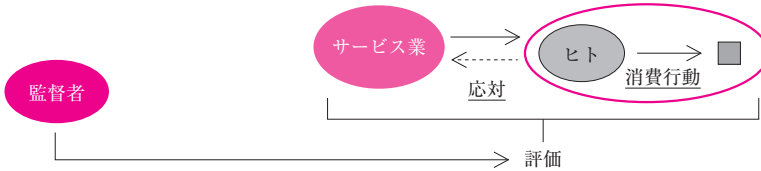
[備考] 1) ドル円レートはIMFのPrincipal Global Indicators による年間平均のレート。日本の最低賃金は前年度の額であり、たとえば「2014年」の額は平成25年度のものとして2013年秋に発行した額。  
2) 米国のデータの出所は、米国労働省、米国統計局 CPS: Average Poverty Thresholds。  
本年鑑46頁参照。

## 第7図 教師の労働の特徴

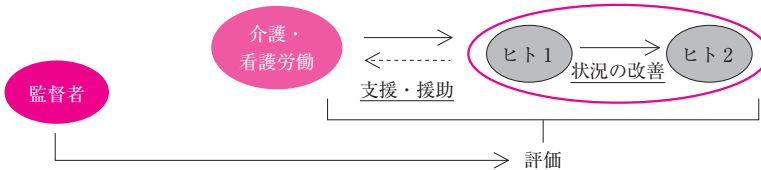
### ① 生産過程の従事者



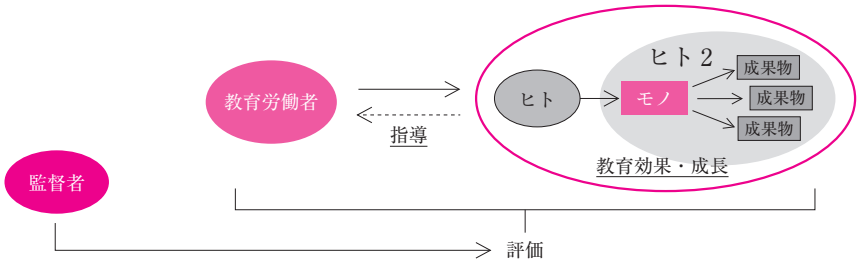
### ② サービス従事者



### ③ 介護職・看護職など対人支援の専門職



### ④ 教師の仕事



〔備考〕 特集2の筆者・油布佐和子作成。  
本年鑑88頁参照。